

ウ 公民館の現状

概況

市内には中央公民館のほか、11の地区公民館がある。中央公民館は全市民を対象とした学習テーマを、地区公民館は地域住民を対象にした学習テーマを取り上げている。

開館時間は、中央公民館は午前9時～午後9時（第3日曜日休館）、地区公民館は午前9時～午後9時（第3日曜日休館）。

設備

中央公民館には、集会室、展示ホール、学習室（兼会議室）、創作室、和室などがある。稼働率は50%以上と高く、人気のある曜日・時間帯は予約が大変な場合もある。また、定期的にご利用しているサークルなどもある。

学習場所としては、中央公民館の他に、コミュニティセンター2階の北条地区学習等供用施設、3階の勤労青少年ホームにも学習室、集会室はあり、公民館と同様に利用できる。

地区公民館は、木造の老朽化している施設が多く、設備も部屋のみで、図書などの学習教材も必ずしも十分に整備されていない。地区公民館は学校と隣接している地域が多く、学校の余裕教室の活用なども考えられる。なお、今後の地区公民館のあり方については、市町村合併構想の中で検討の可能性もある。

エ 公民館における学習活動について

利用者

年間の公民館の利用者は延べ20万人であり、自主的な学習サークルは300団体以上ある。

図表3-11 公民館の利用状況

| 区分 | | 中央公民館 | 地区公民館 | 計 |
|---------|-----------|---------|--------|---------|
| 講座・教室 | 開催数（回） | 50 | 135 | 185 |
| | 延べ回数（回） | 590 | 481 | 771 |
| | 延べ参加者数（人） | 11,129 | 7,586 | 18,715 |
| サークル数 | | 150 | 98 | 248 |
| 利用者数（人） | | 142,888 | 70,181 | 213,069 |

（注）中央公民館の利用者数は、コミュニティセンター全体（学習等供用施設・保健センター、勤労青少年ホームを含む）の利用者

資料：館山市中央公民館「視察資料」（平成13年）

学習内容

現在、中央公民館では、趣味的な講座は学習サークルにまかせ、現代的な課題を自主事業として取り上げることに主眼を置いている。現代的な課題とは、「ペイオフ問題」といった市民生活に直結したものが多く、「平和」、「戦争」といった大きなテーマを取り上げることは少ない。

主要な公民館主催事業としては、ふるさと講座、教養講座、家庭教育講座の3つがある。

は人材養成講座で、50代以上の人の参加が多い。聴講するだけの基礎コースは100人位が参加している。自主学習に取り組む専門コースでは、1講座当たり5～10人の参加者で、座学2/3、フィールド1/3の学習形態となっている。講師は地元の学識者、行政関係者となっている。

は生活環境問題、法律問題などを取り上げている。

は親子で参加できる学習機会となっており、キャンプなどアウトドア型のイベントも実施している。過去に大房などを利用したことがある。

地区公民館活動は、伝承遊び、ゲームなどを通じて異年齢交流が行われている。こうした場を通じて、戦争当時の話が子どもに語られている場合もある。

館山地区公民館では、「戦跡フィールドワーク」を実施し、平和学習を進めている。

市民グループの自主事業として、毎年「安房反核フェスティバル」が開催されている。本年は7月に開催され、3日間で1,000人程度の来客があった。絵画や写真の展示、映画の上映、当時の料理(すいとん)体験などが行われていた。若い人も参加しているが、60～70代の人々がメインとなっている。

オ 今後の平和学習・平和教育について

平和学習の目的を明確に示すことが必要である。現在、公民館で行われているふるさと講座などで行われている歴史系の講座は、高齢者が中心で館山市や自分自身のルーツを調査したりすることに人気があり、平和学習の視点からの戦争遺跡を見て回ることには、高齢者には、ピンとこないのではないかと。また、若い人に対しては、未来志向型の学習内容でないと人気でない。

平和学習の取組の中で、学校週五日制などに対応した学社融合の取組がこれから重要になる。現状では、学校教育と社会教育の担当者の情報の共有や話し合いが十分に図られていない。現在、関係者の協議の場はあるが、今後は定期的な会合の開催など、話し合いを深める必要がある。

平和学習の切り口は、戦争遺跡以外にも身近に沢山ある。例えば、太平洋戦争だけではなく高齢者の関心の高い古戦場の歴史を取り上げるとか、国際交流事業の中から戦争経験のある若い世代の外国人講師を見つけてくるなどの方法もある。

学校や地区公民館が独自のネットワークを有しており、これらの活用が効果的なのではないか。例えば、地区公民館運営審議会には地元の教育関係者が参加している。

教育委員会、公民館には社会教育主事の配置がなく、講座などの企画力にも限界がある。IT講習などではこうした点を民間の協力によって補っている。平和教育の場合についても民間のNPO組織などを活用し、学習場所の確保、PRなどは行政が、学習内容の企画化は民間団体が担当する公民連携事業が可能ではないか。

公民館における学習活動では、受講生は、テキスト代など実費の負担のみでその他は原則無料となっている。市民に公平に学習機会を提供するため、県内の公民館統一の見解となっている。例えば、千葉市でも一定の受講料を徴収する講座は生涯学習センターが担っており、公民館の講座は

無料で実施している。平和学習を公民館で実施する場合は、こうした点に配慮してもらう必要がある。

平和学習に必要な人材バンクについては、生涯学習課の実施しているマイスクールボランティア制度があるが、さらにデータベースの充実が必要である。それには、全市的に講師への対応、データ更新方法、情報提供方法などをルール化していくことが必要である。

図表3-12 平成13年度中央公民館講座事業計画

| No. | 課題テーマ | 講座名 | 講座概要 | 対象 | 定員 | 期間 | 回数 |
|-----|-----------------------------------|---------------------|--|------------------|-----------|-----------------|-----|
| 1 | 環境保全 地域作り | 選択型 ふるさと講座 | ふるさと百科たてやま大事典制作の一環として、従来のふるさと講座の役割に加え、大事典制作に関わる人材の育成を目指す。歴史・自然・生活を大分野として基礎コース・専門コースで構成し、地元の講師陣を中心に運営を図る。 | 一般 | 120 | 9～3月 | 13 |
| 2 | 地域作り | ふるさとジャーナリスト養成教室 | たてやま大事典制作に必要な取材ボランティアを養成する。 | 一般 | 20 | 10～2月 | 5 |
| 3 | 少子高齢化 IT 国際理解 健康 男女共同 | 館山オープンカレッジ | 昭和女子大と連携し講師陣とその内容の充実を図ると共に、市民生活に直結した課題をテーマに展開する。 | 一般 | 120 | 9～2月 | 11 |
| 4 | 地域づくり | 花ガーデニング教室 | まちづくりの柱の一つである花のまちづくりを推進するため、講習や実技、視察研修を行う。 | 一般 | 40 | 8～2月 | 11 |
| 5 | 学校外活動 | パネルシアター教室 | 製作から演出まで学び想像力と社会性を身につける。 | 小学校 3年生 以上 | 20 | 6～8月 | 4 |
| 6 | | 将棋教室(I・II) | 将棋サークルの協力を得て、子どもから大人まで、将棋の指し方から対局を行う。 | 小学生 以上 | 30 | 5月～8月 9月～12月 | 10 |
| 7 | | 親子クッキング教室 | 千葉県牛乳普及協会との共催事業で、牛乳・乳製品を使った料理講習会。 | 小学生 以上の 親子 | 20組 | 12月 | 1 |
| 8 | 家庭教育 | たてやま パパママ子育て塾 | 地域の環境を生かした野外体験や伝承体験などを行い、豊かな原体験を重ねると共に、家族の絆強めるふれあい場とする | 親子 | 20組 | 7～2月 | 11 |
| 9 | | 家庭教育学級 | 幼稚園・小学校単位の学級開催 | 保護者 | | 5月～2月 | 103 |
| 10 | | 子育て支援講座 ハッピーママの会 | 1歳未満の第1子を持つ親を対象にした子育て支援講座。健康管理課との共同事業。子育て情報の交換と仲間作りの場とする | 保護者 | 30組 | 4月～3月 | 24 |
| 11 | 日本画 | 俳画教室 | 短文誌である俳句とその句意を伝達する画を調和させ表現する「俳画」について講義や実技を通じて学ぶ。 | 一般 | 30 | 6月～11月 | 10 |
| 12 | 共催事業 | マイカー点検教室 | 千葉県自動車整備協会安房郡支部との共催。自分の車は自分で点検できるよう講義や実技を通じて学ぶ。 | 一般 | 30 | 9月 | 1 |
| 13 | | 救命講習 | 安房郡市消防本部との共催。応急手当に関する知識と心肺蘇生法の技術を身につけ、万が一の時に備える。 | 一般 | 30 | 9月 | 1 |
| 14 | 総合事業 | サークル フェスティバル | 学習成果の発表の場・機会の提供を行うことで、学んだ知識や技術を還元するため、展示やステージ発表を行う。 | 一般 | | 3月2、3、4日 | 3 |
| 15 | | 成人式 | 成人に達した男女のために、その心身の健全な成長を願い、社会人としての自覚と認識を深めてもらうとともに、その門出を祝福し、将来の幸福を祈念する。 | 新成人 | 対象 619 | 1月第2日曜 | 1 |
| 16 | | 新入学児童 つばき苗プレゼント | 小学校の入学式で新入生に市の木であるつばきの苗を配布する。 | 小1 | 470 | 4月 | 1 |
| 17 | 勤労青少年 ホーム事業 | 男性のためのセンス アップ教室 | スーツの着こなし方から、休日の外出時の服装の着こなし方からまでおしゃれの極意を学ぶ。 | 成人 男性 | 20 | 3月 | 2 |